

千里の風

No. 4

2013 年度歴史教育者協議会

全国大会・大阪

大会速報「千里の風」

編集・発行：現地実行委員会

猛暑のプレ
Bコース

救民の志、現代を照らす

大塩の乱と近代大阪の夜明けの地を訪ねる

集合場所は大阪市役所前。入口にはどーんと「大阪グランドデザイン」なる模型。「世界一の都市をめざす」なんてうたっているが、伝統や文化へのリスペクトは感じられない。そういえばヒトラーもベルリンの都市改造計画を練ってたとか。結果は廃墟だったけど。

重厚な建築物

そんなことを考えながら出発するといきなり奴めの標的の中之島図書館。重厚な立派な建造物である。あくまで図書館だ。形だけ残して美術館にしたってしょせんハリボテ。その隣が中央公会堂。これもまた立派な建物でよく空襲を逃れたなあ、という感じ。戦災の被災者が避難していたという。こちらも本来の目的で使いたいもの。

土佐堀川を渡って緒方洪庵の適塾へ。教科書で写真を見たことしかないのでもやはり現場に行くのはうれしい。中には学生たちがズーフハルマ(辞書)を奪い合って学びあったというズーフ部屋。そして学生たちの大部屋。畳一条の「マイスペース」の場所は成績で決まったという。う～ん、競争主義も考えものだ。部屋の真ん中の柱には無数の刀傷。結構ケンカも絶えなかったというが席次が落ちてキレていた学生もいたのかな、なんて。

緒方洪庵、五代友厚が立つ

適塾の周りもすっかりビルばかり。緒方洪庵先生の像も居心地が悪そうだ。近くには愛珠幼稚園。木造の渋い園舎でなんとこれが市立！なんでも壊す市長に狙われないか心配だ。北浜には大阪証券取引所。創設に貢献したという五代友厚の像が立つ。五代は大阪造幣局の設立にも関わったそうだがそうやって政府とコネをつけていたのか。近くには大阪会議の会場になった料亭の後があるそうだが工事中だった。授業ではさらっと済ませてしまったが都市の中にも歴史は残っているのだ。

「反逆者」大塩親子の墓

いよいよ猛暑の中を大阪造幣局へ。その官舎の一画に洗心洞跡。大塩平八郎の私塾がここにあったという。大塩はここで決起したのだ。近くには銃弾の痕が残っていた槐の木があったそうだが残念ながら枯死してしまい、今は道路の脇に碑が残るのみ。

最後に成正寺へ。ここに大塩平八郎親子の墓がある。「反逆者」大塩は長いこと墓の建



立も許されず明治になってようやくこの寺に墓がつくられ、近年には乱の参加者を顕彰する碑も立てられた。碑文にも書かれた彼らの「救民」の旗の複製も見せていただいた。本当の意味で「救民」の志を持った政治家が大阪から出てこないものか、と怒るのは大阪の皆さんに失礼ではと思いつつ熱くなった心とカラダをビールで冷やしていくことにした。

(埼玉県・Oさん)

ビルの谷間に歴史が点在

暑い大阪、たくさんたくさん歩きました。久しぶり、また会いましたね、お元気でしたか、がんばってますね…と、声をかけあう心地よさ。疑問に答えてくださる方、熱心に写真撮られる方、みなさんの中にと、それだけでエネルギーをもらいます。今職場の若い方と一緒に参加しました。初めて参加したその方も、みなさんの歴史の造詣の深さと熱気にビックリ。ビルの谷間に数々の歴史が点在する大阪、すてきななあ…見直しました。暑さの中、声を張り上げ説明して下さった現地大阪のみなさをん、ありがとうございました。(三重県・Kさん)

適塾で学んだ若者の息吹感じた

速報係の皆様、お世話様です。炎天下のプレコースから宿に戻り、一息ついたところで。炎天下、2万歩近い見学は、正直なところ大変でした。でも内容は期待通り、素晴らしいものでした。適塾で学んだ若者たちの息吹を感じ、大塩平八郎を顕彰するべく活動されている方のお話を伺い、国会期成同盟の議論百出の様子をお聞きして、それぞれの時代の人々のことが私の中に位置付きました。大塩平八郎の檄文の復刻版を大学の授業のために参加出来なかった歴教協のホープである若者へのお土産にしようという大人たちの楽しい計画も決まりました。そして、この大阪の豊かな文化を守りたいと強く思いました。

世話人の皆さんに深く感謝いたします。(東京 Kさん)



社員総会開かれる

2日、社員総会(会員集会)が始まりました。とりあえず、写真だけを取り速報に掲載しました。